

## シノニムを定義する意味

シノニムを **Public** で作成すれば、他のユーザーからでもテーブル名のみのアクセスが可能です。(P.267)

スキーマ名の修飾指定が不要になります。

```
select * from SCOTT emp ;
```

## シノニムの作成

```
CREATE [PUBLIC] SYNONYM <シノニム名>  
FOR <スキーマ名>.<オブジェクト名> ;
```

シノニムは、元のオブジェクトに対しての単なる別名です  
ユーザーが作成したオブジェクトに対して、別のユーザーがそのオブジェクトを利用する場合は、<スキーマ名>、<オブジェクト名>でアクセス対象を指定します  
この<スキーマ名>を省略させるためのシノニム名には、2通りの方法がある

- A) オブジェクトの**作成者**が、**PUBLIC** でシノニムを作成する
- B) オブジェクトの**利用者**が、作成者のオブジェクトに対して<スキーマ名>、<オブジェクト名>を指定してシノニムを作成する

## シノニム対象のオブジェクトに対するアクセス権限

シノニムは、単なる別名に過ぎない

対象オブジェクトに対しての (Select 等の) アクセスのための権限は、元のオブジェクトに対して付与することとなる (シノニムに対して権限を付与するのではない)

『アクセス権限の付与と取消し』については、P.1 を参照のこと